



真 練 怒

会田中学校だより No.10
令和7年1月24日
〒399-7402
松本市会田8923
Tel 0263-64-2020
Fax 0263-64-2974

令和6年度 後期学校評価の結果と3学期。来年度への改善の重点について

今年度後期(2学期末)の学校評価アンケートを行いました。生徒 93.2%, 保護者 83.7%の回答率でした。お忙しい中、回答いただき、ありがとうございました。このアンケートは保護者の皆様にご意見を頂戴し、3学期や来年度の学校運営に生かす大切な機会と考えております。

○生活や生徒指導への取り組みについて 【「真」「怒」】

「会田中へ行くことが楽しいか」という問いについては生徒の肯定的な評価(「そう思う」「だいたいそう思う」)がほぼ 90%以上でした。1 学期に比べると若干少なくなっていますが、今後とも生徒と話をすることで悩みなどを聞き、寄り添って歩んでいけるよう生徒の皆さんを見ていきます。「挨拶をよくし、ルールやマナーを身につけているか」という問いについて保護者の肯定的な評価が 95%となり前期より 1.8 ポイント上がりました。本校の様子を見てもお客さんがお見えになっても挨拶することが当たり前になってきました。更に思春期の大切な時期の精神的成長ができるよう、生徒に寄り添いながら指導をしていきます。

○学習への取り組みについて 【「真」「練」】

「授業が分かるか」という問いは R6 前期生徒と比較すると2学期は肯定的な評価が 94%から 90%となっています。2学期、本校職員は①課題をはっきりする②対話する活動③生徒の考えを大切にすることを合言葉に自らの授業を振り返り、個々の課題を持って授業の改善をしてきました。学校評価とは別の生徒の皆さんへの授業評価アンケートでは1学期よりもどの項目もA評価が3ポイント以上アップしました。これからも更にわかる授業を心がけていきます。

「家庭学習は自学で自分なりの学習が進められているか」の問いは前期生徒と比較すると肯定的な評価が6ポイント上がり82%に上がっています。自学が定着してきています。しかし「家庭学習の習慣が身についているか」の問いには生徒の肯定的な評価は 76%が 2学期は 68%となっています。自分なりに学習を進めることはできても、家庭学習の習慣化が進んでいないということが課題と言えます。ご家庭でも家庭学習について話題にしてみてください。

○その他 地域の連携等 【「真」「練」「怒」】

「地域と連携しているか」という問いは肯定的な評価を見ていくと今年度 1 学期より4ポイント増え93%になっています。

これは総合的な学習をはじめとして地域の方々との交流を昨年度以上に行い、高嶺祭で発表も見ていただきました。また小学校との交流でも6年生の高嶺祭参加や焼き芋を通した全校での交流などを行いました。その情報を学校だよりや学年だより等でご覧いただけていることからと考えております。今後も更に地域の方々へ教育活動へ手を貸していただきながら、私たちも地域のために何かできないかを考えながら教育活動を構想していこうと思います。

この他にも「生命や人権を尊重する心を育てている」「悩みや相談に親身に対応しているか」「係・生徒会の仕事を進んで行っている」「校内の安全に気を配っている」「部活動を熱心に取り組んでいる」の項目では生徒・保護者共に肯定的な評価が 80%以上でした。

また、いただいたご意見は全職員で共有しました。今後の教育活動に生かして参ります。今後も生徒の皆さんや保護者の皆様に対しても信頼を得られる教師集団となるよう皆さんの声に耳を傾け、丁寧な情報発信に努めながら、引き続き学校教育目標「自主の精神を持った心豊かな人間」に近づけるよう日頃から研鑽を積んで参ります。

以上の結果やご意見をいただいた内容等も加味し、3学期や来年度の改善の重点としました。3学期も引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

3 学期が始まりました。

1 月 9 日(木)から3学期が始まりました。3学期始業式では、2年生の代表生徒から頑張りたいことの発表がありました。1つ目は委員会活動で委員と協力し、運営していきたいこと。2つ目は部活動で技能を伸ばしつつ、先輩として後輩のサポートも行いたいこと。3つ目は勉強を頑張りたいこと。3学期の活動を見据えた発表がありました。学校長からは以下のような講話がありました。



<学校長講話から>

全校のみなさん、新年明けましておめでとうございます。新しい年と共に3学期がスタートしました。この時期は1年の総まとめ、特に3年生にとっては中学校生活の総まとめの時期です。

私は正月に駅伝やスポーツ中継を楽しむのが恒例で、特に箱根駅伝では選手たちの努力と感動的なドラマに心を打たれました。國學院大の平林選手が「次の世代に襷（たすき）を繋ぐことの大切さ」を語った言葉は、私たちの学校生活にも通じるものがあります。

3学期は駅伝に例えると3月に次の学年や進路に襷を繋ぐための準備の時期です。「一年の計は元旦にあり」という言葉のように、新年の決意を具体的な行動に移し、最後までやり遂げましょう。もしも投げ出しそうになった時には「本物は続く、続けると本物になる」という言葉を思い出し、一歩ずつ進んでください。

卒業式までの登校日は47日。時間は限られています。1月は「往く月」、2月は「逃げる月」、3月は「去る月」と言われるくらいに大変短く感じます。

3月19日の卒業式は3年生にとって中学校生活の締めくくりであり、お世話になった人たちへの感謝の気持ちを表すと同時に、慣れ親しんだ四賀を離れ、新たな生活が始まる、人生の節目となる重要な日となります。1・2年生にとっては3年生への感謝の気持ちを表す場です。短い3学期ですが、新年の決意を忘れずに一日一日を大切に過ごし、胸を張って卒業式に臨めるよう、今日から準備をしていきましょう。

3学期は締めくくりとなる学期。今まで一日一日繋いできた思いを大切に更なる成長をそれぞれ実感できるように自分と向き合っていてほしいものです。

校内にて

○**書き初め** 今年は昇降口に展示されました。字・書体も一人一人自分で選びました。どの作品もそれぞれの個性が溢れています。その魅力溢れる作品達を是非、1月30日(木)の参観日の際にご覧いただけたらと思います。



○**緑の募金への寄付** 本校の総合的な学習の時間「パノラマタイム」でのものづくり講座では、廃材を使って地域の家具工房さんにカンナがけなどを教わって作った箸を昨年四賀夏まつりで販売しました。その売上金4千円を長野県などで行う「緑の募金委員会」へ寄付をしました。このお金は里山整備に活用していただけるということです。